

別記様式(第5関係)

## 会 議 録

会議の名称	第9回西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会
開催日時	平成21年1月20日(火曜日) 午後3時から午後4時15分まで
開催場所	西東京市役所 防災センター6階 講座室2
出席者	(委員)北澤委員、平野委員、陸名委員、須加委員、豊富委員、五十里委員、織田委員、中村委員(欠席:、畠山委員、橋岡委員、齊藤委員) (関係者)介護保険運営協議会委員 4名 (事務局)福祉部長、福祉部参与、高齢者支援課長、高齢者支援課主幹 以下5名 (傍聴)なし
議 題	1 第8回会議録の確認について 2 計画素案に関する市民説明会・パブリックコメントの結果について 3 高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画(案)について 4 その他
会議資料	1 高齢者保健福祉計画検討委員会第8回会議録 2 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の枠組み(1月) 3 市民説明会の実施結果について 4 市民説明会での市民意見と市の対応表 5 パブリックコメントの検討結果について(案) 6 高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画施策体系(案)
会議内容	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録

### 1 開会

### 2 配布資料の確認(事務局)

### 3 議題

#### (1) 第8回会議録について

会議録の確認:原案どおり確定

(2) 計画素案に関する市民説明会・パブリックコメントの結果について

事務局：資料3、資料4、資料5について説明

(3) 高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画（案）について

事務局：資料6について説明

副座長：主な変更点などについてもご質問や意見はないか。

委員：説明会やパブリックコメントで、市民の意見が全部把握できたと思っているか。

事務局：全部把握できたとは思っていない。今後の開催にあたっては、開催周知方法や意見の把握方法などを検討していきたい。

委員：後1回しか委員会はないが、それで、今後の意見対応ができるのか。

事務局：できれば、28日ぐらいまでに意見をいただき、最終案を次回の委員会で示したい。

委員：できるだけ、市民の意見をいれたものにしてほしい。

委員：市民説明会に参加された方の年齢層はどうか。

事務局：高齢者の方が多数であったが、若い方にもご参加いただいた。

委員：高齢者は、生まれつき高齢者なのではなく、徐々に高齢者となる。生活習慣病についても、若いときからの生活習慣の積み重ねなので、若い方の健康についてもふれておいてほしい。高齢者保健福祉計画というのを若い人にも十分理解していただける計画になるとよい。

委員：73ページの「各サービスの給付額」について、今後サービス提供を始める地域密着型サービスの夜間対応型訪問介護のサービス見込みなどの考え方について教えてほしい。

事務局：夜間対応型訪問介護については、サービス事業者の参入を促進しながら、近隣の市とも連携し、サービス提供ができるように準備を進めていきたい。

小規模多機能型居宅介護については、これまで第3期計8箇所で開催したが、介護従事者の問題や経営上の問題等で実現に至らなかった。これらの問題を踏まえ、介護報酬の改定などで問題の改善が見込まれることも

あるため、様々なハードルを越え、23年度には実現させたいと考えている。

委員：3つの重点プロジェクトがあるが、在宅ターミナルケアの充実を4つめとして加えてほしい。47ページの(6)に関連項目がある。

委員：33ページの重点プロジェクトの目標値についてのベースとなる根拠はあるのか。

事務局：事務局としては、高めに設定している。例えば、老人クラブ加入率は減少傾向であるが、目標として厳しい数字を設定している。

委員：老人クラブやいきいきミニデイなど、重複して加入している人も多いため、どうやって表彰するときに把握するのか、そうやって活動を活性化するのが課題である。再度、重点プロジェクトに、ターミナルケアの充実を入れてほしい。

委員：44ページのところに地域包括支援センターに関する記述があるが、これでは不十分である。

委員：47ページの(10)、(11)に介護労働職員についての記述があるが、これについて質問があった場合、どのように回答するのか教えてほしい。

事務局：介護労働職員の労働条件改善への支援については、昨年7月から三鷹の労働基準監督署と事業者と市と連携し、昨年7月から研修会を実施し、取り組みを始めている。

委員：介護報酬の3パーセントプラス改訂については、現場の職員の声としては、この3パーセントアップは職員の給与に何の影響もないのではないかという意見となっている。介護職員を確保していくかということは、介護の質を上げていくことになるので、市町村レベルで職員給与について、把握していくことが必要である。

委員：37ページの「リハビリテーションネットワークの構築」の中のネットワーク検討会についてイメージはあるのか。

事務局：ネットワーク検討委員会の理学療法士等と検討している最中である。

委員：介護報酬が3パーセント上がるということであるが、在宅1.7パーセント、施設が1.3パーセントであり、これで介護の質を上げることは不可能なので、こういうことは、国へ働きかけをお願いしたい。

委員：介護ボランティア制度について、実際に検討の取り組みが行われるように

なるのか。また、市報に掲載する際、別紙で大きな文字で掲載してほしい。障害者への対応も検討してほしい。

事務局：介護ボランティア制度については、先進市の取り組み状況等を検証しながら、本市において本当にふさわしいボランティア制度はどのようなものかを検討していきたい。

委員：57ページの若年性認知症のところ、支援の必要性はあるので、もっと具体的に載せてほしい。

委員：3パーセントの介護報酬アップは十分ではない。パブリックコメントや市民意見がまとめられているが、意見がきちんと受け止めていくべきではないか。若年認知症の方へのサービスは工夫が必要なので、積極的な文言を入れてほしい。

副座長：保険料の設定の箇所へのお願いであるが、保険料の算定の仕方や制度的な仕組みを記述してほしい。

事務局：本日いただいた意見は、反映できるものは極力反映していきたい。その他にもご意見があれば1月28日までに、事務局にお寄せいただきたい。

#### (4) その他

事務局：次回会議は、2月10日（火曜日）午後2時45分から、防災センター6階講座室2で開催となる。

#### 4 閉会

以上